

令和5年度安城市総合計画審議会第2回第2分科会 議事（要旨）

日 時	令和5年8月24日（木）午後1時30分～3時00分	
場 所	市役所本庁舎 大会議室	
出席者	委員	鈴木健司委員、安田孝美委員、渥美純一委員、河田光司委員、柴田知幸委員、鳥居卓司委員、野村直仁委員、太田良子委員
	事務局	杉浦副市長、企画部長、行革・政策監、関係部次長、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、健幸=SDGs課職員
次 第	1 副市長あいさつ 2 議題 （1）第9次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について ※「都市基盤」「住環境」「防災・減災」「生活安全」「環境」「行財政運営」 3 その他	

1. 副市長あいさつ

皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、総合計画審議会第2回第2分科会にご出席いただきありがとうございます。

先日、14日（月）の予定を台風の影響を考慮し、変更させていただきました。予定変更にも関わらず、本日のご出席ありがとうございます。台風については、本市では15日（火）午前4時22分ごろ最接近しました。市内では道路の通行止めが9か所発生したものの、被害はございませんでした。

本日、皆様のお手元には、本審議会の委員を委嘱する辞令をお配りしております。委員の皆様におかれましては、任期継続のお願いを快くお引き受けいただき誠にありがとうございます。これから2年間、第9次安城市総合計画の策定をはじめ、自治体経営の最上位計画である総合計画に関する事項について、引き続きご審議いただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、前回7月21日の分科会から、第9次総合計画の基本計画に関する審議をスタートしました。前回は重点戦略、そして分野別計画のうち、3つの分野についてご審議いただきました。本日は、残る5分野と行財政運営についてご審議いただき、基本計画に関する一通りの審議を終える予定をしております。

前回に引き続き、委員の皆様との活発な意見交換により、より良い計画としてまいりたいと考えておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 議題

【司会】

本日の分科会の審議事項について、事務局から説明させていただきます。

【健幸=SDGs課長】

健幸=SDGs課長の鈴木でございます。

冒頭でも司会より申し上げましたが、台風7号の接近に伴い、分科会を本日に延期させていただきました。委員の皆様には、ご迷惑をおかけいたしましたことを事務局より改めてお詫び申し上げます。なお、本日は伊藤副市長をはじめ、関係部次長の一部が欠席させていただいております。急遽の日程変更に伴うものですので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

それでは、本日の分科会の審議事項について説明いたします。前のスクリーンをご覧ください。前回に引き続き、今回も総合計画審議会を2つの分科会に分けてご審議いただきます。

本日の第2分科会では、分野別計画のうち、「都市基盤」、「住環境」、「防災・減災」、「生活安全」、「環境」の5分野と「行財政運営」をご審議いただきます。なお、8月22日に開催した第1分科会では、分野別計画のうち、「市民参加と協働」、「文化芸術」、「健康・医療」、「スポーツ」、「生涯学習」の5分野をご審議いただきました。

また、前回7月21日の分科会でご審議いただいた内容につきましては、本日の審議結果と合わせて修正案をまとめ、10月19日に開催します総合計画審議会においてパブリックコメント案としてお示しする予定でございます。

分科会の審議事項についての説明は以上でございます。

#### 【安田孝美座長】

改めまして、安田でございます。本日は、総合計画基本計画（分野別計画）につきまして「都市基盤」「住環境」「防災・減災」「生活安全」「環境」の5分野、そして「行財政運営」につきまして審議をいたします。前回同様に円滑な議事になりますようご協力お願いいたします。「都市基盤」「住環境」「防災・減災」「生活安全」につきましては、相互の関連が大きいためまとめて審議を行いたいと思います。「環境」「行財政運営」につきましては、ひとつずつ審議を行ってまいります。

#### （1）第9次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について

#### 【安田孝美座長】

それでは、まず事務局から「都市基盤」「住環境」「防災・減災」「生活安全」の分野につきまして説明をお願いします。

#### （事務局説明）

#### 【安田孝美座長】

委員の皆様から何かご意見、ご提案はございませんでしょうか。

#### 【柴田知幸委員】

生活安全のところで施策が色々出てきましたが、今、安城市の歩者分離式信号はごく一部の地域にしかありません。これを増やすというお考えがあるかないかをお聞きしたいです。見ていると、交差点カラー表記や灯火点滅錘の設置等についてしか記載されていません。

#### 【建設部長】

歩者分離式信号の設置のご希望ですが、確かに市内に少ないです。これは、やはり歩行者の数、自動車の交通量によってどの信号が適しているかということがあります。また、地域の町内会か

らの要望等で必要性を検討しておりますが、実際に信号を整備するのは公安委員会、警察になりますので、いただいた要望を警察にお伝えしております。

現在、そういった地域からのご希望や市として是非設置を依頼したいという状況はございませんので、計画にも記載しておりません。

**【柴田知幸委員】**

警察が設置するということですが、まず市がどのように考えておられるのか、ここは危ないといったことですか、実際に見ていただくということが必要かなと思います。今、学校の近くには歩者分離式信号があると思うのですが、人が多いところ、市役所前も多いと思いますので、そういった所を見ていただいて、市の意見として警察に話をしていただければと思います。

**【建設部長】**

順次確認等をして、適宜必要に応じて要望をしていきたいと思っております。

**【渥美純一】**

住環境のところで、あちこちでごみステーションが散らかっていて、特に夏は色々なものが腐ったりして臭いも出たりしています。住環境を阻害しているところがありますので、個々のモラルもありますが、市からも言っただけだと、と思っています。

**【環境部長】**

今のご意見ですが、ごみにつきましては、市が収集等していますので、機会を見つけまして啓発等していきたいと思っております。

**【太田良子委員】**

住環境か生活安全かと思うのですが、防犯カメラが市内に少ない気がしています。桜林小学校から女子児童が後をつけられたりといったこと等が起きていますが、道中に1つも防犯カメラがありません。コンビニなどお店も無いので、最近ここ3年くらいでいくつか設置されていますが、他の町内会がどうなのかわかりませんが、もう少し増やしていただければいいかなと思います。

**【市民生活部長】**

市内では防犯カメラを、市が100台、市が補助を出して町内会が189台、合計で289台つけています。今年度から令和9年度まで毎年100台ずつ合計で500台を目指して、町内のご要望をお聞きしながら設置していきたいと思っております。

**【安田孝美座長】**

勿論個人情報に配慮した上で設置していただいていると思いますが、カメラの設置は市の様々な安全の施策に活用できると思っておりますので、期待しています。

**【河田光司委員】**

防災・減災のところで、ハザードマップの件でお尋ねします。今日も雨が降っていますが、一番怖いのが内水氾濫かと思っております。ハザードマップで、市民も自分の住んでいるところは高いのか低いのかを理解しているかと思っておりますが、他の地域から来た人は分からないと思っております。

ですので、内水氾濫についても予見したようなハザードマップや、知らない人もぱっと見てわかる標識のようなものを設置してはどうでしょうか。全く知らないまちでも非常時にどっちに逃げたら安全か、他の地域から来た人にもわかるようにしたら良いと思っておりますが、市の考えをお聞かせください。

**【危機管理監】**

基本的にはそういった形の標識等はありませんが、今年度、浸水深表示を公共施設、小中学校に順次つけていきまして、その場所の高さがわかるように取組を進めております。そういったもので、ある程度ぱっと見てわかるようにしたいと思います。

**【安田孝美座長】**

大変重要なご指摘だったと思います。計画の37ページのところに「デジタル防災技術を活用して地域特性に応じた情報をリアルタイムでプッシュ通知するなど」とありますが、現実的に稼働させるのは難しく、運用は少し時間がかかるかと思います。通常時の状況のプッシュ通知をどうするか、非常時にどうするかということを含めて考えていただけるといいかと思います。

**【野村直仁委員】**

住環境で、安城市にも空き家が多くなっているかなと思います。防犯面などから対策が必要ですが、安城市の現状の空き家の対策と、今後空き家に対する対策があれば教えていただきたいと思います。

**【建設部次長】**

2018年3月に空家等対策計画を策定しまして、計画的に対策を進めています。適切に管理されていない空き家は、問題のある空き家と定義しまして、老朽化して倒壊のおそれがあるものは措置を取ったり、有効活用するものを増やしていくということを今後も行っています。

ちょうど今年度、空家等対策計画の改定の時期でして、前年に実態調査を実施しております。これは基本的に戸建ての住宅を対象にしていますが、数が2016年には643件でしたのが764件になっています。19%ほど増加しているという状況です。

計画策定の中では適切に管理されていない空き家を減らすこと、空き家の利活用を進めていきたいと考えております。

**【安田孝美座長】**

大変重要ですので、是非利活用も含めて考えていっていただきたいと思います。これは、現在見える化はしていますか。

**【建設部次長】**

空き家バンクということで、登録された空き家に対して募集をして、応募された方がそこへ入られる等の利活用があります。ですが、個人情報の関係で、他市では空き家バンクに登録する方が少ないという状況もありますので、見える化はしておりません。利活用面では団体の方などを登録し、空き家所有者に紹介することで利活用につなげることなどを検討したいと考えています。

**【河田光司委員】**

空き家問題の件で、我々金融機関も積極的にやりたいところなのですが、今お話があったように個人情報の問題があり、非常に難しいです。例えば名前は伏せていただいて結構なので、成功事例などを紹介してノウハウを教えていただければと思っています。我々のお客様でも困っている方がいるので、もう少しノウハウ見せていただけると、こちらでもご紹介できるかと思っています。

**【建設部次長】**

連携の仕方等検討してまいります。

**【鈴木健司委員】**

住環境の公園ですが、「多様化する市民ニーズに対応した公園」とありますが、多様化した市民ニーズというのがイメージしにくいので、どんなことがあるのか例えばで良いので教えていただければと思います。

**【都市整備部次長】**

多様化した市民ニーズの例になりますが、子どもが遊びたい、市民が散歩をしたい、健康のためにスポーツをしたい、住民の集う場、地域の憩い・休息の場として、といったようなニーズがあります。

**【鈴木健司委員】**

そうしたニーズをどのように吸い上げていくのか、問うていくことが重要かと思うのですが、ニーズに対応した時に全員が同じような利益があればいいのですが、なかなか難しい。例えば子どものニーズに合わせて子どもの声がうるさいという意見が発生するかもしれません。どのように意見を取り入れていこうとお考えですか。

**【都市整備部次長】**

ニーズの把握につきましては、地域の皆さんで使う公園ですので、市民の方、子ども会や町内会等でワークショップ等を行っていきたいと思っています。

**【鈴木健司委員】**

全てのニーズに応えるのは難しいかと思いますが、どんな公園を作ってほしいのか地域住民の声を反映させていっていただければいいかと思っています。

**【鳥居卓司委員】**

個性を生かして、例えばインラインスケートボード場やドッグラン等、特色のある公園もありますので、そういった公園も検討してもよいのかなと思います。

**【都市整備部次長】**

地区公園、近隣公園、運動公園、街区公園、広域公園等大きさによって用途も変わってきます。計画の中の「市民に親しまれる公園づくり」に記載させていただいておりますが、様々な事業手法を活用した公園の再整備ということについても考えていきたいと思っています。

**【鳥居卓司委員】**

防災・減災の中で施策の取組の雨水対策推進があり、水田貯留について記載がございますが、安城市の取組状況を教えてください。

**【建設部長】**

水害対策に関しては、従来の排水型の雨水対策から脱却して地域と一体となって水害対策を実施していくようになっております。水田水路水量調整、水路を水量調整して辺り一帯の水を溜めるやり方と、個別の田んぼの排水の柵を調整するという2つのタイプがございます。水量調整できる面積が約15ヘクタールくらい、個別の排水柵については協力していただきながら毎年増やしていくのですが、昨年度末で63ヘクタールくらいに増やすことができています。今後も水害への対策として、継続して拡大していきたいと考えています。

**【鳥居卓司委員】**

水田貯留ですが、農家の方の個人的なボランティアのようなかたちの協力でしょうか。

**【建設部長】**

基本的にはそうです。

**【鳥居卓司委員】**

農家さんにその都度溜めてもらうということになるのかと思いますが、大雨、豪雨が多くなってきていますので、そういった取組は促進していってもらえればと思います。協力してくださる農家さんに多少なりロイヤリティ等、何か支給することを検討してはどうかと思います。

**【建設部長】**

関係者等のご意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

**【河田光司委員】**

特殊詐欺についてですが、高齢者へ啓蒙活動を行っていますが、減少していません。金融機関としては、高齢者の方、一定期間キャッシュカードを使っていない方等は1回に10万円以上を引き出せない等の対策を行っております。利用者の方から不便という苦情もあるのですが、被害に遭われるよりは良いだろうと考え、実施しております。

ですが、今も被害に合われる方が多いです。入口は、必ず電話です。市の施策で留守電を補助する等の対策があったかと思いますが、今はどうなっているのかということをお聞きしたいのと、やはり、我々としましては、高齢者の方へ啓蒙活動をかなりやっているのですが、なかなか定着しないので、知らない人からの電話は出ないというようになれば、随分被害は減るかと思っています。電話の設置状況ですとか、現状を教えてくださいたいと思います。

**【市民生活部長】**

自動通話録音装置、着信拒否の装置、特殊詐欺対策機能の付いた後付けの対策装置及び固定電話機の購入費の一部の補助を令和4年4月から行っています。上限があり7千円で、補助率は2分の1となっています。令和4年度の実績ですが、500件の申請があり、設置をしています。

高齢者の方への啓蒙ですが、毎年町内会で犯罪抑止モデル地区を設定し、防犯教室や巡回等の犯罪抑止の事業を実施しています。また、老人クラブで防犯講和等を警察と合同で行っています。

**【河田光司委員】**

我々も啓蒙活動に注力していますが、高齢者の方は翌日にはお忘れになっています。先程、特殊詐欺対策装置購入費補助金についての実績が500件ということですが、対象世帯からするとまだまだ少ないと思いますので、まだ無防備な方の統計を取って見える化して、どんどん設置していくことを進めていくと被害が減少するのではと思います。

**【安田孝美座長】**

私からは質問ではなくてコメントを簡単に少しだけ申します。

都市基盤の箇所ですが、点的な活用計画に加えて面的な活用計画を検討していただき、市民の皆さんに見せていくことをしていただきたいと思います。

住宅の老朽化については、ICTの利活用を他市町でも進めていますので、そういった事例の研究をしながら、できるところから進めていただければと思います。

生活安全の特殊詐欺のお話がありましたが、若年層の闇バイトについても問題になっています。警察が対応することかと思いますが、市としても若年層に対する対応を検討していただければと思います。啓蒙活動になると思いますが、メタバースを使って1人称として考える等、若い層に他人事ではなく、自分も巻き込まれる可能性がある、自分事としてこの問題を捉えてもらう等、将来

的に検討していただければと思います。

それでは、「都市基盤」「住環境」「防災・減災」「生活安全」につきましては、ここまでの審議とさせていただきますと思います。続きまして、「環境」につきまして事務局からご説明をお願いします。

(事務局説明)

**【柴田知幸委員】**

現状と課題の箇所に「大気・水などが良好で」と記載がありますが、安城市で水に関して不安に思うことはあるのでしょうか。

**【環境部長】**

特段、水について何か不安事項があるということはありませんのでご安心ください。

**【柴田知幸委員】**

特に水に関して心配はないが、一応入れているということでしょうか。

**【環境部長】**

最上位計画である総合計画ですので、現状は水の安全は確保されていますが、大気と水、総合的に記載することが望ましいということで記載しております。

**【柴田知幸委員】**

計画に記載すべきものだという理解でいいでしょうか。

**【環境部長】**

そうです。

**【太田良子委員】**

ペットボトルや缶など、スーパーなどに捨てる場所がありますが、高齢者の方はなかなか持って行けなかったりしますので、燃えるごみに混ぜてしまったりしている様子が見受けられます。ペットボトルなども集めていただければと感じております。

また、生ごみですが、コンポストを配布されるといいのではないかなと思っています。新しく転入してきた若い世代の方の中には、生ごみを燃えるごみの中に入れてしまう方がいて、夏場はごみの臭いがすごくなっています。戸建てなら庭に少しの土場があればコンポストを設置できるので、家庭での利用の促進ができないかなと思っています。

**【環境部長】**

ペットボトル等につきましては、回収場所に持って行かず燃えるごみに入れられてしまうと、軽いものですので、飛んでしまったりしてごみステーションが散らかってしまうことにつながりかねませんので、委員のおっしゃられることはよくわかります。ペットボトルの収集は難しいですが、高齢者の方等が困らないような対応を検討していきたいと思っています。

生ごみの関係ですが、こちらもおっしゃるとおり、コンポスト等で処理すればごみの削減につながりますので、継続して補助支援を行っています。ですが、まだ周知、啓発が不足しているかと思っています。コンポストや市からの補助について、知っている方は制度を活用してコンポストを使っておられる、ということもありますので、今後PRにも力を入れていきたいと思っています。

**【太田良子委員】**

新しく家を建てて転入して来た方に対して、町内会によっては勧誘やルールの説明をしているかと思います。そういったことがあるので、町内会の方に対し、転入者とお話をする時にコンポストのことも一緒にプッシュしてもらえるとありがたいということ由市から依頼していただけると、もう少し家庭でのコンポスト導入が増えてくるのかなと思います。

最初はコンポストの設置は増えていたのですが、このところ少なくなっているかなと感じるので、アピールしていただければと思います。

**【環境部長】**

新しく転入してきた方へ、また、長く住んでおられるか方へも勿論ですが、コンポスト導入、補助支援制度のPRを行ってまいりたいと思います。

**【安田孝美座長】**

切実なお話だったと思いますので、短期的にできること、長期的に考えていくことと分けて是非進めて行っていただければと思います。

**【渥美純一委員】**

今日も雨が降っていますが、道路がでこぼこで、子どもが通学中に車の水がはねてかかってしまうということがあります。通学路など割とスピードが出ている車も多いので、そういったことが少し気になります。

**【建設部長】**

そういった情報を町内会から町内要望としていただくことがあり、対応させていただいています。他に緊急的に対処しなければならないようなことについては、すぐ個別に対応しています。ですが、全てに完全に対応できていませんので、引き続き進めていきたいと思っています。

**【河田光司委員】**

環境のところで、エコタウン構想のことを教えていただきたいです。三河安城駅南地区等は区画整理などで蓄電や電線の地中化等、色々あるかと思います。どこかモデル地区を作って先進的な取組を行うと、PRですとか市民の意識の醸成等にも良いかと思いますが、そういった構想といますか、現状はどのようになっていますでしょうか。

**【都市整備部長】**

三河安城駅南地区については、区画整理事業は組合で立ち上がりましたが、今のところエコタウンというような要素は整理されていません。

**【鈴木健司委員】**

現状と課題に書かれている「2030年度温室効果ガス排出量46%削減（2013年度比）及び2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップを作成し、具体的・実効的な施策を立案し着実に進めていく必要があります。」というのは、市が行う事業等についてのことを記載している、民間は関係ないということでしょうか。

**【環境部長】**

民間も併せた安城市全体についての記載になります。

**【鈴木健司委員】**

そうすると、課題のところに挙がっている46%削減というのと、指標に挙げられている「市が



実施している事務及び事業に関する温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）」の数値の整合が難しいのではないかと思います。市がいくら頑張っても、民間事業者の排出量が多いままでは、目標の達成は難しいということがあります。

また、施策の取組のところでロードマップのことが出てきていませんので、作成するなら書かれた方がいいかと思います。

2つ目として、1市民として、1人当たりのごみの排出量を減らしましょうといってもピンとこないのですね。例えば、1人当たりごみをこのくらい減らすと、どういったことができるのかという示し方、全体としてこれだけの量が削減できますとか、こういった施設を作ることができますというような示し方をした方がわかりやすいと思います。もしくは、削減できたら1家庭にゴミ袋を提供しますとかポイントを配布しますとか、わかりやすくしてPRする方が市民の意識が高まるかなと思います。

#### 【環境部長】

成果指標についてですが、市全体の温室効果ガス排出量削減率の数値になりますと、国全体の排出量から按分して求めた数値が安城市の数値になっており、国から2年遅れで算出されるものとなっています。成果指標として数値を評価していく中で、国から出された数値よりも、市が実施している事業から出すことができる数値を使った方が数値の速報性があるというところで、苦しいところではあるのですが、このような成果指標を定めています。また、ロードマップについては、作成いたしますので、施策の取組にも記載を検討いたします。

1人1日当たりのごみの排出量ですが、委員のおっしゃるとおり、インセンティブのようなものをつけた方が、市民がわかりやすいと思います。計画内に定める成果指標としては、ごみの排出量というようにしたいと思いますが、ごみ削減のPRとしては、いただいたご意見のように、市としてもわかりやすく工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

#### 【安田孝美座長】

貴重なご意見をいただきました。市民一人ひとりが行っていくための見せ方等は工夫してやっていっていただきたいと思っています。よくやっているところなどを市として見せていくなども効果があるのではと思います。

ごみについては、色々な市町さんで外国人の方の捨て方について問題が出てきますが、安城市さんでは出ていませんか。

#### 【環境部長】

言葉の壁があり文化も違うので、ごみの出し方ですとか苦情のお話が時折あります。ですが、現状は、頻繁というわけではありません。

#### 【安田孝美座長】

外国人のごみ問題で、よくある対策としては、文章だけでなく絵を入れて出し方をわかりやすくするなどの取組があります。問題が出ましたら、そういったことも検討していただければと思います。

また、繁忙期のごみ収集施設の車の渋滞等を課題として記載してあると思います。ICT技術の活用をしまして、リアルタイムな収集車の状況を市民の皆さんにお伝えいただく、といったようなことを進めていただければと思います。

**【鳥居卓司委員】**

たくさんの数の鳥が電線に留まって時がありますが、市で対策等を行っていたりしますか。原因の把握などはされていますでしょうか。

**【環境部長】**

苦情として入るものは、そんなにたくさんはありません。鳥がたくさん留まっている電柱・電線等の管理者にお願いするなどの手立てしかないというのが現状です。

**【安田孝美座長】**

鳥問題は安城市に限ったことではなく、色々な自治体で上がっています。市でも検討していただければと思います。

それでは続きまして、行財政運営について事務局からご説明をお願いします。

(事務局説明)

**【鈴木健司委員】**

2つ質問があります。「適正な予算執行」の箇所ですが、安城市は財政がすごく良いと思います。財政調整基金を80億円くらいあり、かなり積み立ててるなと思いますが、どのくらいを目標にされているのでしょうか。

また、ふるさと納税制度がありますが、安城市の場合は入ってくるより出ていく方が多いのかなと思っております。どのくらい出ていっているのかを教えてくださいませんか。

**【総務部長】**

財政調整基金は、100億円程度を目途に積立てをしております。また、これとは別に、目的別の基金を事業に応じて必要な分を積み立てています。

**【行革・政策監】**

ふるさと納税についてですが、本市は出ていく方が大きいです。安城市への寄附は昨年度実績で約8,600万、件数は約6,700件です。諸経費を差し引きますと実質約5千万円となっております。一方で、市民の市外への寄附金額は、約16億円となっております。市税ベースでマイナス7億円となっております。歳入の確保は非常に大きな課題ですので、しっかり取り組んでまいります。

**【野村直仁委員】**

ふるさと納税をしてもらえる対策を何かされていたら教えてください。

**【行革・政策監】**

SNSでのPR、ポスターを今年度作ってまいります。また、職員によるふるさと納税プロジェクトチームを作って、ふるさと納税に注力してやっていくということを検討しています。また、商品開発に関して、安城ビジネスコンシェルジュのコーディネーターの方が関わり、市内の事業所の方と連携して特産品の商品化、様々な商品開発を行っています。

**【野村直仁委員】**

ふるさと納税は返礼品で決められる方も多いのって、魅力的なものをどんどん出していただければと思います。

**【安田孝美座長】**

オープンデータに関して、国としてはオープンデータを出してくれとなくなっていますが、安城市の持っているデータのオープンデータ化と民間事業者の保有するデータなど、官民を交えたオープンデータ化について、お考えをお聞かせいただければと思います。

**【行革・政策監】**

令和4年度末現在で、49件のデータをオンライン上で公開しています。統計関係ですと人口、年齢性別等と子育て施設の一覧等がウェブサイトで見ることができます。

令和2年度の時点では10件、令和4年度には49件ということで、39件増加しており、これからも精力的に増やしてまいります。

民間事業者等とのデータの連携については課題であると思っております。市のオープンデータの活用によって民間事業者のビジネスチャンスにもつなげることができると思っておりますので、今年度策定のDX推進計画の中でしっかり検討していきたいと思っております。

**【安田孝美座長】**

安城市では生成AIに関してガイドラインは作成されましたでしょうか。

**【行革・政策監】**

現在は実証実験の最中です。チャットボット、ChatGPT、MicrosoftのBing、GoogleのBardを使用し、実証実験の結果をもって導入を判断したいと思っております。

**【安田孝美座長】**

それでは、本日の審議はここまでといたします。

本日は貴重なご意見をいただきましたので、この意見を踏まえて事務局でご検討いただければと思います。それでは、事務局へお返しします。

**【健幸=SDGs課長】**

委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日いただいた意見をもとに検討しまして、加筆修正してまいりたいと思っております。次回の審議会は、10月19日（木）午前10時に開催いたします。会場は本日お越しいただいております市役所本庁舎大会議室です。内容としましては、計画のパブリックコメント案と第8次総合計画の進捗報告を予定しております。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

**【司会】**

以上をもちまして、総合計画審議会第2分科会を終了いたします。本日はありがとうございました。